

=====

トラック 1

=====

//ヒメコ：

やあやあ、凝東村へようこそ！

儂はヒメコと申す者だ。
村に新たな住人が来たと知ったのでな、
挨拶に参ったぞ。

わざわざこんなド田舎に来たということは、
地域振興のプログラムで来たんじゃろ？

ははっ、そうじゃろうな。
まあゆっくりしていけ。
しばらく過ごしておれば、
この村のことも好きになろうて。

さて、お主……
今は荷解きの最中とお見受けする。
これもなにかの縁じゃ、
手伝ってやろうではないか。

遠慮はいらぬ。
儂はここじゃ雑貨屋をしておるが、
今日は定休日じゃ。
つまるところ、暇なのじゃよ。

うむ、では参ろうぞ。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

トラック 2

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

//ヒメコ：

この冷蔵庫は、部屋の角に置けばよいか？

あいわかった、よっ……と！

ははは、心配はいらぬ！

冷蔵庫の一つや二つ、

儂にかかれば軽いものよ！

しかし、随分と家具が少ないのう。

あれか？『みにまりすと』というやつか？

む、なんじゃこれは……置物？人形？

これはどこに置けばよいのじゃ？

ほう、あの棚の上じゃな。

脚立はあるか？

踏み台にしては随分と小さいが、

まあそれでよかろう。

ん……んっ……！こ、このっ……！

うまく置けぬっ……！

く、んんんん～……！

おのれっ……！

五尺二寸ばかりの、儂の背丈が憎いっ……！

届かぬではないかあ……っ！

はあ……はあ……

お、おい。手伝ってくれぬか？
こっちをじっと見ておるようじゃが、
別に面白くもなかろう？

よし、では儂の胴周りをはっきりと掴み、
持ち上げてくれ。

なに？抵抗があるのか？
まさか、重くて持てぬなどと言うまいな。

か、肩車っ……

確かにお主はそれが楽かもしれぬがな、
それではまるで、
儂が童のようではないか！
恥ずかしいわ！

まったく……さあ、儂を掴むがよい。
ほれ、早うせい。

んっ……♡

な、なんでもないぞ？
さあ、持ち上げとくれ。

お……お……！いいぞ、その調子じゃ。
今置くからな、いくぞ……それっ。

よし、もう大丈夫じゃ。
降ろしてよいぞ。

ふう、一仕事したのう。儂は重たかったか？

くく、そうじゃ。
流石にそれぐらいは分かっておるか。

おや？

おい、お主……

くくく、まっすぐ立ってみろ。

やましいことがないなら、できるじゃろ？

おーおーおー……♡

ズボンの上からでも分かるわ♡

お主、勃起……♡しておるではないか♡

さっきからじろじろ

見られておるとは思ったが、

まさか儂に興奮しておったとはのう♡

乳房も尻も、身長割に大きかろう？

どちらも、100センチを超えておるからな♡

儂が動き回り、

乳房がぶるんっ♡ぶるんっ♡と、

お尻がばるんっ♡ばるんっ♡と……

跳ねてしまうのを視姦しておったのじゃな♡

おいおい♡

更にちんぽが

固くなっているではないか……♡

儂の乳や尻の動きを思い出して、

堪えきれず、

さらにいきり勃たせてしまったのじゃな♡

くく、誤魔化さずともよい♡

どうじゃ♡お主のカチカチのモノ……♡

このおっぱいで……♡

気持ちよ〜く……♡しごいてやってもよいぞ♡

さっき儂を持ち上げたときに、
お主の手を儂の下乳が覆ってしまったが……♡
あの柔らかさを、
今度はちんぽで堪能できるのじゃぞ……♡

さあ、気持ちよくなりたくば、
ちんぽを出すがいい……♡

ははは♡そんな必死に脱がんでも、
おっぱいは逃げたりせぬぞ♡

では、見せてやろう♡

ほおれ、どうじゃ……？
これが儂のおっぱいじゃよ♡

くく♡もう釘付けじゃの♡
ちんぽも期待で汁を垂らして……♡
情けないオスじゃのう♡

さて、この谷間で……♡
これから、お主のちんぽを挟んでやる♡
いくぞ……♡

ぱっ……ふううう～ん♡

挟んだだけで暴れておるな♡
まったく、そんなに気持ちよいか？♡

だが、これからじゃ♡
これからこの谷間でお主のちんぽは……♡
もみくちゃにされてしまうぞ♡

むふふふふ……♡

むにゅむにゅうっ♡

むにゅむにゅむにゅ〜っ♡
パイズリ奉仕、開始じゃあ♡

ほれ♡ほれ♡ほれほれえっ♡
儂の胸はたまらんじゃろう♡

もっちりとした乳肉が、
むにっ♡むにっ……♡と変型し、
いつでもお主のちんぽをぴったり包む♡
お主の弱〜い亀頭や、敏感なカリ裏にまで、
みっ……ちり♡ずりずりしてやるぞ♡

ずりずり……♡むにゅむにゅ……♡
ずりずり……♡むにゅむにゅ……♡
ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡
ずうりずうり……♡ぎゅううう〜っ♡

くくっ♡みっともなく、腰が震えてきたな♡
そんなに気持ちいいか♡
胸ひとつで女の子にいいようにされて、
恥ずかしいとは思わぬのか♡

ぎゅっ♡ぎゅっ♡ぎゅううう〜っ♡
これがたまらのじゃろ♡
ぎゅううっ♡と、万力のように、
お主のちんぽを潰しながらしごいてやる♡

ぐにゅううっ♡ぎゅっ♡ぎゅううっ♡
ぐにゅぐにゅぐにゅうう〜っ♡
お主のよわよわちんぽが、
儂のおっぱいに潰されて悦んでおるな♡

ちんぽを蹂躪されて感じるとは、
まったく救いようのない変態じゃのう♡

じゃが、むしろ儂は嬉しいぞ♡

そうして、魔羅の快樂に蕩けているお主が、
愛おしくて愛おしくてたまらんからなあ♡

くく♡どんどん儂の胸に溺れるがよい♡
難しいことはなんにも、
考えなくてよいのじゃぞ♡

ただ、ぎゅむっ♡ぎゅむううっ♡と……
ちんぽをいじめられて、
頭の中を幸せでいっぱいにしておれば
よいのじゃ♡

もうイきそうか♡そうかそうか♡
ちんぽも腰もぶるぶる震えておるものなあ♡
よいぞ♡存分に射精するがいい♡

ずりゅずりゅずりゅうっ♡
むにゅむにゅむにゅむにゅう～っ♡
儂の胸に種付けしろ♡漏らせ♡漏らせ♡
びゅるっ♡ぶびゅるるるう～っ♡♡

ふう……すつきりしたか？
そうかそうか。それならよいのじゃ。

まったく、とんだスケベ野郎じゃな……
谷間がもうべっちょべっちょじゃぞ？
とんでもない量を出すのう、お主は。

荷解きもほとんど終わっておるようじゃし、
儂は一旦シャワーを借りるぞ。

胸から、凄まじい精の臭いがするでな。
早う洗い落とさねば……
こ、興奮でおかしくなってしまうそうじゃ♡

そ、それではなっ！

=====

トラック 3

=====

//ヒメコ：

んお、誰か来たようじゃぞー。
さっさと出たほうがよいな。

なんじゃ、儂か？
もうちょっとのんびりさせい。
寝る前には帰るからな。

//リンカ：

こんばんは、凝束村においでませ。

わたくしはリンカといいます。
凝束村に新しい方がいらっしゃったと
聞きましたので、
少々遅くなりましたが、
ご挨拶をと思ひまして……

わたくしは、この村で食堂をやっております。
よければぜひあなた様にも、
お越しいただきたく……
本日は手製のもつ鍋を持って参りました。

どうやら、
既に上がられている方もいるようですし……
三人で夕食に致しませんか？

あ、お嫌でしたら構いませんよ？
どうせ自分の分は作り置きしますし、
もつ鍋が苦手でしたら、
別のものをお持ちしますから。

よ、よろしいんですか？

ありがとうございます。

もっと都会風の料理でないとダメかな〜……

なんて思っていたのですけれど、

よかったです。

では、上がらせていただきますね……

=====

トラック 4

=====

//ヒメコ：

ご馳走さまじゃ！
くーっ！うまかったのう！

//リンカ：

そうですか、それはそれは……
ヒメコさんは、よくお店にいらっしゃいますものね。
気に入っていただけているようで
なによりです。

一応お聞きしますが、
あなた様はどうでしたか？

お味のほうをお聞きしたくて……
ここに来るまで、
都会の方のお口に合うのかどうかと
不安だったのですよ。

そうですか。それはよかったです……！

ふふ、なんて言いましたけれど、
そうおっしゃるだろうと思っておりました。

だって、あなた様……
ご飯を召し上がっている最中、
ずっと美味しそうで、
幸せそうな顔をしておられましたもの。

わたくし、こんなに美味しそうに
ご飯を食べていただいたことはありませんから、

すっかり嬉しくなっていました。

ねえ、ヒメコさん？

//ヒメコ：

あん？なんじゃ？

//リンカ：

夜のこと、やっぱりわたくしがしてもいいですか？

//ヒメコ：

好きにしろ。

儂はもう楽しんだからな。

//リンカ：

ありがとうございます。

それじゃあわたくし、食器を片付けますね。

//ヒメコ：

あー……おい。お主。

悪いが、儂はここで少し眠ることにした。

なに、せいぜい十数分ほどの仮眠じゃよ。

よいな。

リンカ次第じゃがな……

//リンカ：

おや、

ヒメコさんはお眠りになったのですね。

では、折角ですし……
少しお話を致しませんか？

ふふ、ちょっとした愚痴と、
それからお願いがありまして……

そういうことを言うタイプに見えませんか？
そうですね、よく言われます。

あの、あなた様は……
地域振興のキャンペーンで、
凝束村に越してこられたのですよね？

そうですか。やっぱり、そうですね……

あのキャンペーン、
最初は補助金が出るのですけれど……
数年で打ち切られてしまうのです。

それで、同じくキャンペーンで来た方は、
みなすぐに越していってしまうのです。
補助金が出るうちは住んでくれているけど、
定住はしてくれないんですよ……

あなた様がどうなさるつもりなのかは、
聞きません。
あなた様はきっと優しいので、
本心にせよ、嘘にせよ、
同じことをおっしゃると分かっております。

ですが……わたくしは、あなた様にはどうしても、
この村に永住して欲しいと考えております。
そのためならわたくしは……ふふっ。

特別なご奉仕を……♡

あなた様にだけ、致しますよ……♡

くすくす、随分とお顔を赤らめて……

今日はもう、

ヒメコさんとしっぽりしたのでしょうか？

今さら驚くようなことでしょうか。

さあ、あなた様……♡なんにも、

難しいことを考える必要性はありません。

ただわたくしに身を任せて、気持ちよおく……♡

堕ちてゆくだけでよいのですよ……♡

見れば、あなた様の股間……♡

もう既に、もっこり♡

なさっているではありませんか……♡

ふふふ、しかしそれも当然でございます。

わたくしのもつ鍋には……たっぷりと、

精のつく食材を使っておりますから♡

あなた様はただ、

じっとしていればよいのですよ♡

一から十まで、

わたくしがして差し上げますからね……♡

失礼しますね♡

はあい……♡

おちんぼさん、出てきましたね……♡

ふふ、わたくしの雰囲気が変わったと？

どうでもいいことはありませんか、

そんなこと……♡

この可愛らしいおちんぼさんを……♡

こうして、優しく握って差し上げます♡

いかがですか……♡

びくんっ♡びくんっ♡

って、おちんぽさんが返事してますね♡

どうやらおちんぽさんは、
わたくしのこの手でえ……いじ♡いじ♡されるのが、
お気に入りのようですね♡

ちょっと握られただけでこんなに感じて♡
あなた様は本当にすけべなお方ですね♡
くすくす……♡

本当はそういう方のこと、
あまり好きではありませんけれど……
あなた様だけは特別ですよ♡

それでは、
もっと気に入っていただけますように……♡
しごいて差し上げますね♡

しい～こ……♡しい～こ♡
しい～こ……♡しい～こ♡
きゅっ♡きゅっ♡きゅっ♡
しい～こ……♡しい～……っこ♡

気持ちいいですか♡

そうですか♡よかったです♡
では、引き続き……♡
あなた様のかっこいい竿を、
優あしく♡お磨き致しますね♡

しい～こ……♡しい～こ♡
なでなで……♡さすさす……♡
どんどん硬くなってきました……♡

しい〜こ……♡しい〜こ……♡
しい〜こ……♡しい〜っ……こ♡

ふふ……♡
気持ちよさそうなお顔♡

でも、物足りないのではありませんか♡

こうしてゆっくりと……♡優しく♡
おちんぼをしごかれても……♡
金玉がぐつぐつ♡煮えたぎって……♡
射精したいけど、中々射精できませんよね♡

もっと激しくしてさしあげることも、
可能ですよ♡

はあ〜い……♡かしこまりました♡

ぐちゅぐちゅぐちゅ〜っ♡
にゅぐにゅぐにゅぐにゅぐ〜っ♡

こうして、
亀さんをくるみ込んでさしあげればあ……♡
気持ちよすぎて、腰震えちゃいますよね♡
声も、漏れちゃいますよねえ……♡
ふふっ♡とっても可愛らしいですよ……♡

さあ♡そのずっ……しり♡とした、
タマタマにいっぱいのお精子♡
竿を擦られながら、
亀さんをいじめられて……♡
情けな〜く♡お漏らし♡しちゃいましょう♡

しこしこしこ〜っ♡むぎゅっ♡ぎゅううっ♡
ぎゅむぎゅむぎゅむうっ♡
しゅこしゅこしゅこしゅこお〜っ♡

にゆこにゆこにゆこにゆこお〜っ♡
ぐちゅっ♡ぐちゅぐちゅ♡ぐちゅぐちゅ……♡
びゅるるっ♡びゅるるるうう〜っ♡♡

まあ♡素敵です♡

わたくしのお手々……あなた様の欲望で、
ぎっとり、べとべとでございます♡

くんくん……

はあああ……♡
とっても濃厚な、雄の匂いが致しますね♡
こんな濃厚なものを出すだなんて、
あなた様はやっぱりすけべなのですね♡

それでは、わたくし……
手を洗って参りますね。

//ヒメコ：

くあああ〜……

おー、どうしたんじゃお主。
随分ぼうっとしておるな。

まるで、さっき儂にイカされたときのような
顔をしておるぞ？
目もとろけておるしなあ。

はっはっは、なにを言う。
儂は丁度今までぐっすり寝ておったわ。
狸寝入りをしたと思うか？

//リンカ：

おや、もうお目覚めですか？

//ヒメコ：

お主のせいじゃろ、まったく……

=====

トラック 5

=====

//リンカ：

では、そろそろ夕食時も終わりますし、
わたくしは帰ろうかと思います。

//ヒメコ：

む、もうそんな時間か。
では僕も帰るとするかな……

//リンカ：

あなた様、どうかされましたか？

//ヒメコ：

ほう、挨拶回りに行くのか。
なるほどな……

//リンカ：

あなた様、お言葉ですが……
用意もせずに、
挨拶回りに行かれるべきではありません。

//ヒメコ：

いかにも、リンカの言う通りじゃ。
差し入れの品の話をしているのではないぞ。

新たにこの村の一員として
迎え入れられるためには、

村人たちに示さねばならぬブツがある。

//リンカ：

それは、二つのお札です。

この村には、神社が二つありまして……

それぞれに赴き、

そこでお札を手に入れることが、

村の外からやってきた人々の、

通過儀礼なのです。

//ヒメコ：

なに？時間か？

まあ昼時だろうが、夜中だろうが、

いつ行っても手に入るが……

なに？今から行くつもりか？

ふうむ……

元気があるときにしておいたほうがよいぞ？

特に、お主はな。

//リンカ：

まあまあ、彼もこう言っておりますし……

別に今からでも、よいではありませんか。

今日はまだまだ元気ですよ、あなた様？

ふふ、ではぜひ行くべきですよ。

思い立ったが吉日、

ただお札を受け取るだけですからね。

//ヒメコ：

ふうむ……

//リンカ：

さあ、準備なさいましょう。
お召しものはなんでも構いませんし……
早速、靴をお履きになって、
出発致しましょう。

この村、結構起伏があるので……
足に無理をさせたり、転んだりしないよう
気をつけてくださいね。

//ヒメコ：

頑張るんじゃぞ～。

//リンカ：

頑張ってくださいね！

=====

トラック 6

=====

//リンカ：

まあ、随分とお早い到着ですね。

どうしてわたくしがここにいるのか……

気になるのも当然でございましょう。

これをご覧ください。

はい、これがあなた様が求めておられる……

この神社のお札でございます。

本殿でお渡ししますので……

着いてきてくださいね。

本殿とはいいますが、

畳に布団が置いてあるだけの、

簡素な部屋でございます。

おっと、そうでした。

あなた様は、お札を取りにここまでやってきたのですね。

ふふふ……

今まで黙っておりましたが……

わたくし、この神社に奉られている、狐なのです。

ほら、このふさふさの耳……

そして、大きく豊かな、尻尾。

まさしく、その証拠という訳でございます。

雰囲気が出ますので、衣服も着物にしてみました。

さてさて……

あなた様はこのお札が欲しいと、
わたくしももちろん知っております。

くく、ですが……
神様からものを貰うのに、
タダということはないでしょう？
捧げものが必要、ということです。

お金など要りませんよ。
わたくしが欲しているのは……そう、
あなた様の、お精子です……♡

それも、
先ほどのような無駄撃ちは許しません。

このお布団の中で、
お互いの体を寄せ合い……♡
一對のオスとメスになって、
子作りをするのですよ……♡

ちなみに、拒否権はありませんよ。
ほら……！

あなた様のお召し物は全て、
妖術でわたくしが預かってしまいました♡
これでもう、あなた様は逃げられません♡

夜の気温の中、
全裸で帰ってもよろしいですが……
ふふ、風邪を引いてしまいますし、
わたくし、悲しくて悲しくて……

あなた様からいただいた下着を嗅ぎながら、
自らを慰めてしまうことでしょう♡

さぁ♡早くこちらの布団の中へ、

お入りくださいませ♡

はあい、いらっしゃいませ……♡

まずはハグをしましょう？

わたくし、あなたと密着したいので……♡

ふう……

とても、温かいです……

きつとこれは、

体温だけのせいではありません。

もっと根元的な、あなた様の温かさです……♡

ふう……♡

そして……♡

あなた様のご立派なおちんぼも♡

熱く、硬くなって参りましたね♡

さあ、そろそろ本番に致しましょう♡

密着しておりますから……♡

少し腰を……くいっ♡くいっ♡とすれば……♡

わたくしのおまんこに、

あなた様のモノが入ってしまいますよ……♡

さあ、どうぞ……♡

はあっ♡あああ……♡

やっぱり、いいっ……♡

あなた様のモノは、

わたくしのおまんこにぴったりです♡

もう、辛抱たまりません♡

あなた様あ♡腰を動かしてください♡

ふあっ♡あっ♡あっ♡あ♡ああっ♡
すっ♡すごいですっ♡もっ♡もっ♡とっ♡
もっ♡くださいっ♡あっ♡ああっ♡

ではっ♡もっとあなた様になっ♡
気持ちよくっ♡なっていたくためにっ♡
お乳首、弄らせていただきますね……♡

あなた様がっ♡あっ♡わたくしのっ♡んっ♡
ごっ♡ご飯っ♡あんなにっ♡あっ♡
おいしそうにっ♡あっ♡ふっ♡ふううっ……♡

おいしそうにっ♡食べてくださってっ♡
わたくしっ♡もう感激してっ♡あっ♡やっ♡んっ♡
しゅきにっ♡なっちゃいましたっ……♡

んはあっ♡あっ♡あっ♡あっ♡ああっ……♡
だからっ♡あふっ♡んっ♡ゆっ♡
誘惑しちゃいましたあっ……♡

くふうっ♡あっ♡ひいっ♡あっ♡あっ♡
おちんぼもっ♡お乳首、カリカリもっ……♡
気持ちいいですねっ……♡
うっ♡ふうっ♡あっ♡あっ♡んああっ♡やっ♡

あなた様に悦んでいただけるならあっ♡
わたくしっ……♡んあっ♡あっ♡どんなことでもっ♡
致しますっ♡ふうっ♡はっ♡ああっ♡

ねっ♡わたくしにお射精っ♡してくださいっ♡
おまんこにどくどくっ♡種付けえっ♡
してくださいあいつ♡

あはあっ♡うっ♡嬉しいですっ♡はっ♡

激しくっ♡こんなにっ♡あっ♡求めてっ♡

あなた様にっ♡必要とされているだけでっ♡
あっ♡ふああっ♡あっ♡わたくしいっ♡んはあっ♡
幸せでえっ♡すごくてえっ♡あはあっ♡
頭あっ♡ばかになっちゃいまひゅっ♡

ふおおっ♡ああんっ♡もっとおっ♡
もっと突いてくだしゃいっ♡ひいっ♡
わたくしのおまんこっ♡んふうっ♡あっ♡
自由にっ♡好きなだけっ♡あっ♡はあっ♡
使ってくださいっ♡んにいっ♡ひいっ♡

だしてっ♡だして下さいっ♡あっ♡やっ♡
奥にっ♡奥にくださいっ♡あっ♡はっ♡んっ♡

わたくしのっ♡おまんこおっ♡あっ♡んはあっ♡
あなたしゃまにいっ♡ふうっ♡ひいっ♡
ごつごつされりゅ度にいっ♡あっ♡
赤ちゃんっ♡はあっ♡孕みたくなくてえっ♡

神じゃなくてえっ♡あっ♡んひいっ♡
一人のっ♡あっ♡女の子にいっ♡ひあっ♡
さっ♡されちゃうんでひゅうっ♡はあっ♡

わたくしをっ♡あっ♡孕ませてえっ♡んふうっ♡
毎日っ♡あなた様のためにいっ♡
ご飯作らせてくだしゃいっ♡あっ♡くふっ♡

もっ♡もおイきますうっ♡あなた様もっ♡
イってっ♡くだしゃいっ♡あっ♡
イクっ♡イクイクイクっ……♡

はっひいいいっ♡あっ♡ふああっ♡
んはっ♡ふあああああ〜っ♡♡

っはあっ、はあっ、はああ……♡

ふう、ふうう……♡し、幸せですっ……♡

好きな殿方とっ、このようにっ……♡
体を重ねることがっ……こんなにつ、
素晴らしいことだとはっ……♡

さて……よい汗もかいたことですし、
今晚はこのままお休みになりますか？

なんと、
もう一つの神社にも向かわれるのですか？
あなた様の体力は無尽蔵でございますね……

こちら、お札となっております。
お納め下さい。
それから、お召し物もお返しします。

あの、一つお願いがあるのですが……

今日ここであつたこと……といいますか、
わたくしの正体については、
村の皆さんには内緒にしておいて下さい。

ありがとうございます。
それでは……

では、最後にもう一つだけ、お願いを。

わたくしを、抱き締めて下さい……

あっ……♡

あっ……

な、なんでもありませんよ。

さあ、そろそろ行ってはいかがでしょうか。

はい。では、行ってらっしゃいませ。

=====

トラック 7

=====

//ヒメコ：

ふあああ……待ちわびたぞ、お主い！

どうやら、
先にリンカの方へ向かったようじゃな。
あやつのことじゃ、
どうせ、セックスさせられたんじゃろ？

むしろ、あやつより儂のほうが、
そういうことには
興味があるはずなのじゃがな……

どうも、
お主と食卓を囲んでからというもの、
儂も引くほどがつついておるな。

まあ、他の女の話はよい。
ここにお札を取りに来たんじゃろ？

うっすら察しておるかと思うが、
儂はこの神社に奉られている神じゃ。

儂が神であることには、
村の者に気付いているやつもおるがの。
なにせずとこの姿でおるからな、
年寄りはいずれ気付く。

そして、これも察しておるだろうが……
くく、お札をタダで渡すわけにはいかん。

この通り、儂は狸なのじゃ。

このぷりていな耳、
そしてもふもふで豊かな尻尾……
どうしてもというなら、触ってもよいぞ？

さて、なにより先に、
お主からは精を貰わねばならぬな。
じゅるり……

ずっと我慢しておったんじゃぞ……♡
お主と二人きりだったら、
いつか押し倒しておったほどにな……♡

さあ、本殿へ参ろうぞ♡
中でたっぷり可愛がってやるからな……♡

ときにお主、今日何回射精した？

ふむ……随分と出しておるな。
仕方あるまい、少々強引じゃが……

なに、すぐにムラムラしてくるはすじゃよ♡

くく、これが僕の妖術じゃよ。

あっという間に、お主の魔羅も、金玉も……
いつもの二倍ほどのサイズになったのう♡

お主の服は耐えられなんだが……
ともかく、これでタマの中身は十分じゃろ♡

あん？ちんぽまで大きくする必要か？

あるに決まっておるじゃろ。

こいつを僕の中にぶち込んだら、

どれほど気持ちよいのか……♡
考えるだけでも、股ぐらが湿ってしまうわ♡

それにな、ほれ……♡

オスはみな、
このちんぽの出っ張りを責められると、
すっかり参ってしまう生き物じゃが……♡

こうしてちんぽを大きくすれば、
この弱〜い♡所も、
大きくなるという寸法よ♡

くくく♡こうして裏側をくすぐられると、
もうたまらんじゃろう♡

すうーっ……♡

極太ちんぽ♡完全に勃起してしまったのう♡
やらしい臭いがむわあっ……♡
と、漂ってくるぞ♡

こんなものをぶち込まれては、
儂もひとたまりもないな♡

じゃから……♡
もう少し、弱らせてやるとしようか♡

儂の指先がびったり、
ちんぽの溝にはまってしまうほど……♡
大きくなっておるのう♡

ほーれ、よしよし……♡よしよし……♡
気持ちいいじゃろ♡
カリ裏をこんなに、
重点的にいじられたことはなかろう♡

腰が震えてきたぞ♡

そろそろ、まともに腰も振れまい♡

ん……しょっと……！

冷蔵庫を持ち上げられて、

人を持ち上げられぬ道理もあるまい？

はっ……！

では、本番にいくぞ♡

もう脱ぐのも焦れたい♡

ずらして、すぐに挿入させてやる♡

あっ♡ぐっ♡くおぉお……♡んはぁぁぁ……♡

お主のモノでっ♡

ナカが捻げられていくのが分かるぞっ……♡

はぁ……♡はぁ……♡う、動くぞっ……♡

せいぜいやらしく啼いて、

儂を楽しませてくれよ♡

んっ♡ふっ♡くっ♡くふうっ♡ふっ♡んんっ♡

あっ♡ふあっ♡あっ♡くっ♡くひっ♡いっ♡

あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡はぁっ♡あんっ♡

どうじゃ♡おなごに押さえつけられて♡

上からぐりぐりと責められる気分は♡

んくうっ♡んっ♡あっ♡はっ♡

たっ♡たまらんじゃろうっ♡お主っ♡

蹂躪されるのが♡好きなタチじゃろ♡

儂のきつきつおまんこがっ……♡
大きくなったお主のっ♡あっ♡んっ♡
ちっ♡ちんぽをっ♡包み込んでえっ♡

ぎゅうぎゅうっ♡ぎちぎちっ♡と♡
締めつけておるわ♡あっ♡ひっ♡んっ♡
はっ♡あっ♡あっ♡あっ♡んはあっ♡

しかしっ……♡はあっ♡うっ♡ふっ♡
ほっ♡本当にっ♡大きいなっ♡
儂がやったとはいえ♡あっ♡んっ♡くおおっ♡

先っぽがっ♡ぐりぐりとっ♡あっ♡やっ♡
わっ♡儂の子宮を押し上げてっ♡んふうっ♡
おっ♡思わずっ♡
メスのスイッチが入ってしまうわ♡

ふーっ♡ふーっ♡
お互いに、狂ってしまいそうじゃな♡

じゃが、ここからの快樂は、
これまでとは比べものにならんぞ♡
全力で犯し抜いてやるからな……♡

んっ♡はっ♡あっ♡くっ♡くううっ♡
ほおれっ♡ほれっ♡んぎっ♡あっ♡
きっ♡気持ちよかろう♡くくっ♡んっ♡

大きくなったっ♡ちんぽのっ♡全体をっ♡
激しくっ♡んっ♡激しく擦られてっ♡
もうっ♡んはあっ♡あっ♡
たっ♡たまらんじゃろうっ♡くふうっ♡

気持ちよすぎて、腰が暴れておるぞ♡
この変態めっ♡あっ♡くうっ♡はっ♡
儂の雌穴を屈服させようなどっ♡あっ♡

百年早いわっ♡ほれっ♡ほおれっ♡

もっ♡もうイきそうなんじゃろ♡
しょうがないやつじゃなっ♡あっ♡ひあっ♡
儂も一緒にっ♡イってやるっ♡感謝しろっ♡

んはあああっ♡いくっ♡いくぞっ♡
お主の極太極上ちんぽでいくからなっ♡
あっ♡ふぎいっ♡んおっ♡
ありがたくっ♡種付け射精するんじゃぞ♡

イっくっ♡あっ♡ひあっ♡あっ♡あっ♡あっ♡
くりゅっ♡きてしまうっ♡イっくうっ！？♡
くはああああ〜っ♡♡

はああああ……♡
素晴らしいひとときじゃった♡

こうして、お主と交わることができてよかった……♡
ずっと狙っておったんじゃぞ♡

うん？そうじゃな……
お主がこの村にやってきたときから、
ずうっと狙っておったぞ。

くく、気付かなんだか？
お主は本当に鈍いやつじゃのう……♡

一目惚れというやつじゃ♡
初めてお主を見た瞬間、
すっかりやられてしまったのじゃよ♡

は、顔など気にしておらんわ。
体つきも、さして重要ではない。

重要なのは、魂じゃ。

誰しも、それぞれ異なる魂の形を持っておる。

そして、お主のそれは……

儂にとって完璧じゃった♡

あの瞬間、儂の運命はお主とともに在ることだと……

そう、確信したのじゃ。

それに、魂のことばかり話したかな？

実際お主と会って話してみれば、

中々気立てもいい男だときた。

そういうわけでな、どうにか交わりたいと、

思ってしまったのじゃ。

さあ、今晚はもう疲れたじゃろう、

早く帰るとよい。

おお、そうじゃ。お札じゃったな……

手間を取らせたな、受け取るがよい。

夜道は暗い。気をつけて帰るんじゃぞ。

=====

トラック 8

=====

//ヒメコ：

おお、帰ってきおったか。

なんじゃ、儂がここにいるのがそんなにおかしいか？

そこの壁を試してみるがよい。

即席の神棚と、儂の分社を置かせてもらったぞ。
これでいつでも、お主の家に上がり込めると言う寸法よ。

//リンカ：

お帰りなさいませ。

夜風に当たって、
お体を冷やしてはいませんか？

暖かいお茶を淹れて参りました。
冷まさなくとも飲める温度でございます。
ささ、テーブルにかけてお召し上がりください。
疲労にも、ある程度効果があるかと存じます。

ちなみに、わたくしも分社を置かせてもらいました。
ヒメコ様のものと同じ場所にありますよ。

//ヒメコ：

しかし、すっかり夜更けじゃな……
今から挨拶回りは無理じゃろう。

//リンカ：

わたくしもヒメコ様も、
大分やりたい放題交わりましたからね……
未だに、お腹にあったかいものを感じます♡

//ヒメコ：

どうじゃ、明日に備えてもう寝るというのは。
布団なら出しておいてやったぞ？

まだ眠くないというのか？
ふむ……珍しいやつもおったものじゃ。

//リンカ：

都会の方は夜更かしするといいますし、
今日越してこられたばかりなのですから、
当然かもしれませんね。

//ヒメコ：

いやいや、そういう問題じゃないじゃろ……
こやつ、今日だけで何回射精したと思っ取るんじゃ？

//リンカ：

まあまあ……
お元気でよろしいじゃないですか。

そうだ、眠れないならば、わたくしたちで
寝かしつけて差し上げればよいのです！

//ヒメコ：

おお、面白いことを言うのう！

ぜひそうしよう！

//リンカ：

え？あ、あぁー……

お、お風呂は入らなくても大丈夫です！
気になるなら、明日入りましょう！

//ヒメコ：

儂らか？くく、気にすることはない。
お主の臭いなら、
むしろ歓迎といったところよ。

//リンカ：

ささ、今晚は寝てしまいましょう。
お先に布団に入らせていただきますね。

さ、こちらへどうぞ。

わ……♡添い寝だ……♡
すごい、濃厚な香りがっ……♡

//ヒメコ：

では、儂も失礼するとっ、するかな……

中々立派な布団を持っておるようじゃが、
三人で入れば……流石に、
身を寄せ合わねばならぬな……♡

//リンカ：

ふすー……♡ふすー……♡ふすーっ……♡

//ヒメコ：

リンカ、流石に吸いすぎじゃ。
引かれておるぞ？

//リンカ：

あ、す、すみません。
粗相をしてしまいました……

//ヒメコ：

うむ、あくまで儂らは寝かしつけのために、
ここにおるのじゃからな……

では、ゆくぞ……！

//リンカ：

では、わたくしも……！

どうですか……♡
こうしてふわふわなもふもふ尻尾で……♡

あなた様の体を包んで差し上げます♡
心地よいでしょう……♡

//ヒメコ：

後ろからも、もふもふ攻撃じゃ……♡
みっちりもふもふの尻尾を……♡

お主の体の下に入れて♡
極上の敷き布団をくれてやるぞ……♡

//リンカ：

全身がとろけるような感覚でしょう♡
さあ、全身のお力を抜いて……♡
わたくしたちに身を任せてくださいね……♡

//ヒメコ：

そうじゃ、肉体はもちろん……
脳からも力を抜くように意識するのがコツじゃ♡

//リンカ：

わたくしはどこにもいきませんからね……♡
頭をからっぽにして、すーっ……と♡
体を休めて、落ちていきましょう♡

//ヒメコ：

さあ、ゆっくりと深呼吸するんじゃぞ。
もふもふに埋もれて、
入り込んでいくイメージでな。

//リンカ：

あなた様はもう、
全身がとろけてしまいそうです。
もふもふに包まれて、溶けて、
一つになってしまうのです……

//ヒメコ：

すう～っ……と、吸って……

鼻から、ふすう～っ……と、吐いて……

すう～っ……と、吸って……

鼻から、ふすう～っ……と、吐いて……

//リンカ：

すう～っ……と、吸って……

鼻から、ふすう～っ……と、吐いて……

すう～っ……と、吸って……

鼻から、ふすう～っ……と、吐いて……

//ヒメコ：

呼吸も規則的に、大きくなってきたな……♡

その調子じゃぞ♡えらいぞ♡えらいぞ……♡

//リンカ：

んう……すみません、わたくしも眠くなってきました。

//ヒメコ：

儂もじゃ。

ふわあ……このまま眠るとするかの。

//リンカ：

そう、ですか……

では、おやすみなさいませ……あなた様♡

//ヒメコ：

うむ……お主があったかいから、

眠くなってしまったようじゃな……♡
おやすみじゃあ……

//ヒメコ：

すー……すー……ふー……

すー……すー……すう……すー……

//リンカ：

すー……すー……ふー……

すー……すー……すう……すー……

=====

トラック 9

=====

//リンカ：

おかえりなさいませ〜！

どうでしたか？挨拶回りのご様子は……

そうでしたか、
みなさん受け入れてくださったのですね。
とっても喜ばしいことです。

//ヒメコ：

では、いよいよもってお主も、
ここの住人というわけじゃのう。

では、改めて……

//ヒメコ：

凝束村へ、ようこそ！

//リンカ：

凝束村へ、ようこそ！

//リンカ：

これはお祝いをしなければなりませんね！
というわけで……

あなた様のために、
ごちそうを用意致しました！

さあさ、お召し上がりください！

//ヒメコ：

リンカは、本当に用意がいいのう。
予め作っておったんじゃろ？

//リンカ：

ええ、もちろんですとも。
この御仁のためならわたくし、
毎日一人でフルコースだってご用意します！

え？あ、ああ……そうですね、
確かに実はわざわざ手で運んでこなくても、
こうやって術で料理やものを
呼び出すことはできますよ。

あのお～……
やっぱり、直接運んで来たほうが、
殿方は喜ばれるかと思ひまして。

//ヒメコ：

はっはっは、用意がよい上に、
抜け目もないのう！

いやあ、
お主が恋に真剣になればどうなるか……
考えたことはあったが、
ここまでするとはな。

//リンカ：

そうは言いますが、ヒメコ様だって、
本気も本気でしょう？

//ヒメコ：

当たり前じゃ。うん千年生きてきて、
初めて番にしてやりたいと思う男に
会えたのじゃぞ？

//リンカ：

その割には、あまりアプローチを
なさっていないようですが……

//ヒメコ：

そ、そんなことはないぞっ。

//リンカ：

もしや、ヒメコ様……
尊大な神として生きるうちに、
殿方へのアプローチのやり方を
忘れてしまったのでは？

//ヒメコ：

うぐっ！

//リンカ：

体目当てならともかく……
心でも繋がりたいと思うのでしたら、
夜伽にばかり頼っていては危険ですよ。

余計なお世話でしたでしょうか……？

//ヒメコ：

うあああっ！嫌じゃ嫌じゃっ！
儂を見捨てんでおくれええっ！

好きじゃ好きじゃ大好きじゃあっ！
リンカに独占などされとうないっ！

わ、儂のことを見てくれるか、お主は……？

//リンカ：

いい雰囲気ですね。
わたくしはお邪魔かと思しますので、
ここでお暇させていただきます。

ああ、いえ……正直に申し上げますと、
お店の開店時間が迫っているのです。
そろそろ戻らなければなりません。

そういうことで……
もしなにか困ったことがあったら、
いつでも相談してくださいね。

それでは。

//ヒメコ：

わ、儂もじゃ！
儂にも、な～んでも、
相談してくれてよいんじゃぞ！？

雑貨屋の主人としても、
村の神様としてもっ！

ひ、一人の……女としても……っ、

なんでも、相談してくれっ。

いいか！？約束じゃぞ！？

では、儂もそろそろ開店準備じゃ。
ご馳走にありつけぬのは辛いが、
お暇させてもらおうかのう。

リンカは開店中ずっと忙しいが、
儂は結構暇しとるからな。
適当に遊びに来ても構わんぞ。

ではな。

=====

トラック 10

=====

//リンカ：

いらっしゃいませー。

//ヒメコ：

おお、来たか。

こっちじゃ、ここに座るがよい。

なぜお主を呼んだのかじゃと？

はあ〜……

自覚しておらんとはな。

ほれ、リンカが来たぞ。

//リンカ：

お冷や、お持ちしました〜

//ヒメコ：

おお、すまぬな。

さて、本題じゃが……

お主、最近なんだか暗いな。

なにか、悩みを抱えているように見える。

問題を抱えているようならば、

それをぜひ聞き出し、共に解決したい……

そう思って、今日はお主を呼んだのじゃ。

リンカの店を貸切じゃぞ？
滅多にできることではない……

//リンカ：

あなた様は、
一人で悩みを抱えてしまうお方ですから。
こうして聞き出しますと、
いつまでも暗いままでしょう？

//ヒメコ：

なんと、言えぬのか。

ふむう……余程の事情と見える。
困ったものじゃ。

//リンカ：

無礼を承知で申し上げますが……
わたくしどもは、
あなた様の悩みが深刻であるほど、
解決して差し上げたいと
思ってしまうのです。

//ヒメコ：

そうじゃ。お主には……
いつも笑っていて欲しいからな。
好きな人が悲しそうにしているのは、
こちらまで悲しくなってしまう。

なあ、どうしても……話してはくれぬのか？

//リンカ：

ダメ……ですか。

//ヒメコ：

そうか……ううむ、少し傷つくな……

//リンカ：

本当に、話してはいただけないのですか？

あなた様がこの村に来てから、
それなりの時間が経ちました……
わたくしやヒメコ様と、あなた様の間には、
少なからず信頼関係が築けているものと、
そう思っておりましたが……

//リンカ：

であれば、手筈通りに……

//ヒメコ：

ほ、本当にやるのか？ 儂は……

//リンカ：

この気まずいままでは終われません。
さあ、ヒメコ様。

//ヒメコ：

……あいわかった。

はあっ！

すまぬな、お主には金縛りをかけた。
せいぜい、指先程度しか動かさせぬよ。

//リンカ：

絶対聞き出しますから。
わたくし、手段は選ばないタイプなんです。

さ、邪魔な机はどかしちゃいましょう。

//ヒメコ：

あくまでお主の意志で打ち明けてほしいと、
儂らは思っておる。

だから……♡

儂らに全て話してしまいたくなるように、
まずはお主のちんぽから
説得させてもらうぞ♡

//リンカ：

そうですね♡
二人でご奉仕すれば……♡
きっとあなた様も、
お話ししたくなるはずです♡

さあ、
おズボンのチャックを下ろしますよ……♡

//ヒメコ：

そして、下着の中から……♡
お主のちんぽを取り出してやろう♡

ふむ、半勃ちといったところか……

//リンカ：

ううん、どうしましょう？

//ヒメコ：

心配はいらぬ。いいか……ごしょごしょごしょ……

//リンカ：

なるほど、ありがとうございます。

では、それでいいきましょうか♡

//ヒメコ：

うむ、ではゆくぞ♡

//リンカ：

はい♡左右からおちんぽに……♡

//リンカ：

ふう～～っ……♡

//ヒメコ：

ふう～～っ……♡

//ヒメコ：

もう一度じゃ♡

//リンカ：

ふう～～っ……♡

//ヒメコ：

ふう～～っ……♡

//リンカ：

わぁ……♡

//ヒメコ：

や、やはり……♡お主のモノは立派じゃのう♡
威圧されてしまうほどじゃ……♡

//リンカ：

素敵です♡惚れ惚れしますね……♡
このおちんぼさんをご神体にして、
あなた様を祀りたいほどです♡

//ヒメコ：

では、早速このちんぼを……♡

//リンカ：

ええ、また左右から……♡

//ヒメコ：

お口奉仕、させてもらうぞ……♡

//リンカ：

お口奉仕、致しますねっ……♡

//ヒメコ：

ずじゆるるっ♡ずぞぞっ♡ずるるっ♡

ちゆるるっ♡むじゆるるっ♡じゅっ♡

じゅううっ♡ずろろっ♡じゅううっ♡

//リンカ：

ずじゆるるっ♡ずぞぞっ♡ずるるっ♡

ちゆるるっ♡むじゆるるっ♡じゅっ♡

じゅううっ♡ずろろっ♡じゅううっ♡

//リンカ：

むちゅうっ♡れろれろっ♡んちゅっ♡

ちゅううっ♡るれっ♡れろおんっ♡

んちゅううっ♡ちゅっ♡ちゅううっ♡

//ヒメコ：

じゆるるっ♡んっ♡ずぞっ♡

ずじゆるるうっ♡ずるるう〜っ♡じゆるるっ♡

じゅっぶ♡じゅぶ♡じゅぶ♡じゅぶっ♡

//ヒメコ：

ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅううっ♡

るれっ♡れろれろおっ♡れれっ♡れろおんっ♡
んちゅうっ♡ちゅっ♡ちゅううっ♡
むちゅうう～っ♡

//リンカ：

んふーっ♡んじゅるうっ♡じゅぼっ♡

ずぼぼっ♡じゅぼっ♡じゅぼっ♡じゅぼっ♡
むじゅううっ♡じゅるる♡じゅるんっ♡
じゅぞぞお～っ♡

//リンカ：

いかがですか♡わたくしどものお口奉仕は♡

//ヒメコ：

腰が砕けるほど気持ちよかろう♡

神を二柱も侍らせて、
ちんぽに奉仕させるとは♡
全く、贅沢で罪な男よのう♡

//ヒメコ：

ちゅううう～っ♡

//リンカ：

ちゅううう～っ♡

//リンカ：

どんどん幸せになって……♡
なにも考えられなくなってしまうでしょう♡

//ヒメコ：

そうじゃ♡ちんぽも脳みそも、
ふわふわ～♡じゃぞ♡

//リンカ：

むっちゅう♡ちゅ♡るれ♡れろろ♡

ちゅ♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅう～♡
ちゅう♡るれろ♡れろれろお♡
んふう♡むっちゅうう～♡

//ヒメコ：

ずぞお♡ずじゅるう♡ずじゅ♡

じゅぞ♡じゅぶ♡じゅぶ♡じゅぶ♡
じゅる♡んふう♡んじゅるう♡
ずぞ♡ずぞお～♡

//ヒメコ：

ちゅ♡ちゅう♡れる♡れるる♡

んちゅう♡れれ♡れろおん♡るれ♡
むちゅう♡ちゅ♡ちゅ♡ちゅう♡

//リンカ：

ずるう♡ずぞ♡ずぞ♡ずじゅる♡

じゅぶ♡じゅぶ♡じゅぶ♡じゅぶ♡ずじゅ♡
じゅる♡じゅぞぞぞお～♡

//ヒメコ：

もうイきそうなんじゃろ♡
おちんぼが、びっくんびっくん震えておる♡

//リンカ：

それじゃあ、ラストスパートです♡
たっくさん、幸せになって……♡

//ヒメコ：

びゅーびゅー♡
してしまえ♡

//リンカ：

びゅーびゅー♡
しちゃいましょう♡

//リンカ：

んむちゅうっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡

んちゅうっ♡れろっ♡れろれろおっ♡んむっ♡
ちゅっ♡ちゅっ♡れろっ♡んちゅううっ♡

//ヒメコ：

んむちゅうっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡

んちゅうっ♡れろっ♡れろれろおっ♡んむっ♡
ちゅっ♡ちゅっ♡れろっ♡んちゅううっ♡

//リンカ：

ぶじゆるるうっ♡ずぼっ♡ずぼっ♡ずぼぼっ♡

むじゆるるうっ♡じゆるっ♡じゅぞっ♡ぞっ♡
じゅぞぞぞおっ♡じゆる♡じゆるるんっ♡
ずぞっ♡ずぞぞぞぞお〜っ♡♡

//ヒメコ：

ぶじゆるるうっ♡ずぼっ♡ずぼっ♡ずぼぼっ♡

むじゆるるうっ♡じゆるっ♡じゅぞっ♡ぞっ♡
じゅぞぞぞおっ♡じゆる♡じゆるるんっ♡
ずぞっ♡ずぞぞぞぞお〜っ♡♡

//ヒメコ：

んむうっ♡んむっ♡んぐっ♡んむうう……♡

//リンカ：

あぁっ、ヒメコ様ずるいですっ！
わたくしもお精子飲みたかったのにつ！

//ヒメコ：

んくっ♡んくっ♡ん……♡ぶはぁっ♡

悪いな、リンカ♡
どうしても欲しくて……
むしゃぶりついてしもうたわ♡

//リンカ：

むう……しょうがないですね。

それで、あなた様。

お悩みの理由、聞かせていただけませんか？

もうすっかり頭の中もとろとろでしょう♡

頭をぼうっとさせたまま、

隠しごともなにもかも、打ち明けてしまいましょう♡

え？

//ヒメコ：

お、お主っ……この村から……

ここを出たいと、今っ、言ったのか？

そ、それだけはっ……

//リンカ：

それだけはっ……

//ヒメコ：

絶対に許さぬぞっ！

//リンカ：

絶対に許しませんっ！

=====

トラック 11

=====

//リンカ：

お目覚めですね。おはようございます♡

//ヒメコ：

そうは言っても、
せいぜい一時間も経っておらんがな。

//リンカ：

ここですか？
ここはわたくしの寝室ですよ♡

少々乱暴ですが……こうして、
あなたをベッドに拘束致しました♡

//ヒメコ：

お主が悪いんじゃぞ？
都会に戻りたいなどと、
妙なことを抜かしおって……

ちなみにこれは僕の術じゃ。
今度は手足が鉛のように重いじゃろう？

さっきの金縛りは催眠術だったがな、
お主を気絶させてしまったから、
本物の妖術をかけることになったんじゃよ。

そして、更に術をかけてやる♡

はあっ！

//リンカ：

まあ……♡

//ヒメコ：

くく、お主の金玉を大きくしてやったわ♡
それもこの前のような
生ぬるいサイズではないぞ♡

なんと……十倍じゃ♡

//リンカ：

これで、たっくさん精子を作れますね♡

ふふふ……

それではあなた様♡
こちらの人魂を見つめてくださいませ♡

そうです、これをぼうっと見てください♡
ゆらゆら……ゆらゆらと……
光があなた様の中に吸い込まれていきます。
あるいは、あなた様が光に
吸い込まれているのかもしれませんが……？

はあい……♡
催眠完了でございます♡

今のあなた様は発情期の獣同然♡
がっちがちのおちんぼ様でえ……♡
ぐつつぐつに煮えたぎった♡
たまたまの中身……♡

ぶちまけたくて、ぶちまけたくて……♡

もうどうしようもない♡

そんな変態さんになっちゃいました♡

//ヒメコ：

おーおー♡目が怖いぞ、お主い……♡

拘束していなければ、

すぐにでも儂らを組み敷いて、

犯し尽くしてしまいそうじゃな♡

では、またおちんぽに

ご奉仕してやることにするかな♡

//リンカ：

ええ、そうですね……♡

ですが、こんなものを直接ぶち込まれては、

わたくしども、

すっかりやられてしまいますから……♡

//ヒメコ：

今度は、儂ら二人のおっぱいで、

お主のちんぽを挟んで……♡

嫌というほど気持ちよくしてやる♡

ゆくぞ……♡

//リンカ：

覚悟してくださいね……♡

//ヒメコ：

どうじゃ♡ほれ♡ほれ……♡
左右から挟まれて♡
お主のちんぽは溺れそうじゃな♡

//リンカ：

ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡
血管ばきばきのおちんぽさん♡
びくびくして気持ちよさそうにしていますね♡

//ヒメコ：

ずうりずうり……♡ずりずりずり……っ♡
以前も少し話したが……♡
儂のおっぱいはなんと、106センチじゃ♡
Kカップじゃぞ♡

//リンカ：

ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡
そして、わたくしのおっぱいは……♡
126センチの、Oカップでございます♡

ふふ、おっぱいのサイズを聞いただけで……♡
お顔、緩んじゃってますよ～♡

//ヒメコ：

そんなにおっぱいが好きか♡
どれだけ求愛しても、おっぱいは孕まぬというのになぁ……♡

さらに……♡
お主のおっきくなってしまった金玉も……♡
優しく撫で回してやろう♡

//リンカ：

なでなで♡ずりずり……♡
なでなで♡ずうりずうり……♡
たまたまさんも、大きくて格好いいですよ♡

//ヒメコ：

なでなで♡ずりずり……♡
もみもみ♡ずうりずうり……♡
ちんぽも金玉もぴくんっ♡ぴくんっ♡と、
射精したくて震えておるなあ♡くく……♡

//リンカ：

おちんぽをずりずり♡ずりずり♡されて……♡
たまたまも優あしく……♡甘やかされて♡
もうイっちゃいそうなんですか♡
ふふ、そうですか……♡

//ヒメコ：

では、儂らのおっぱいと♡指先に……♡
ちんぽを集中させるんじゃぞ……♡

//リンカ：

ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡
なでなで♡すりすり……♡
なでなで♡すりすり……♡
ずうりずうり……♡ずりずりずりい……♡

//ヒメコ：

ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡

なでなで♡すりすり……♡
なでなで♡すりすり……♡
ずうりずうり……ずりずりずりい……♡

//リンカ：

あ〜♡いっちゃん♡いっちゃん〜♡

//ヒメコ：

あ〜♡いっちゃん♡いっちゃん〜♡

//ヒメコ：

でも、だーめ♡
じゃぞ♡

//リンカ：

でも、だーめ♡
ですよ♡

//ヒメコ：

くく♡気持ちいいじゃろ♡
ずっとイきそうなんじゃろ♡
でも、お主はイけぬのよ♡

//リンカ：

あなた様は、わたくしの人魂を見てしまいました♡
あれを見た殿方は、射精すら
わたくしにコントロールされてしまうのです♡

勿論、パイズリも、たまたまのお世話も……♡
やめるつもりはありませんよ♡

//ヒメコ：

気持ちよすぎて苦しいじゃろ♡
儂らに優しく金玉を、
なでなで……♡さすさす……♡
とされて、どんどん精子が作られておる♡

十倍のタマに、十倍の子種が詰まって……♡
十倍以上の射精欲求が♡
お主の脳を、
支配してしまっているのじゃろう♡

じゃが、イクことはできぬ♡
どれだけ種付けしたいと思うても……♡

//リンカ：

どれだけ♡おちんぼ様がぁ……♡
むにゅむにゅ～っ♡と、
おっぱいでおもてなしされたとしても……♡

//ヒメコ：

絶対に♡
イけないのじゃ♡

//リンカ：

絶対に♡
イけませんよ♡

//リンカ：

ふふ♡どうかしましたか～♡

まあ♡そんなに、
どうしてもイきたいんですか♡
しょうがないお方ですね……♡

一つだけ、条件があります♡
いいですか♡

//ヒメコ：

お主には、この凝束村に、永住して欲しい♡
それが、儂らのたった一つの願いよ♡

//リンカ：

いかがですか、あなた様♡
この申し出……受けていただけますか♡

//ヒメコ：

ん～？♡なにを迷っておるのじゃ♡
答えは一つじゃろ♡

//ヒメコ：

ずうりずうりっ……♡ずうりずうり……♡
なでなで……♡さすさす……♡
ずりずりずりずりい～っ♡
さすさすさすさすうっ♡くふふふっ……♡

//リンカ：

ずうりずうりっ……♡ずうりずうり……♡
なでなで……♡さすさす……♡
ずりずりずりずりい～っ♡
さすさすさすさすうっ♡くふふふっ……♡

//ヒメコ：

さあ♡

//リンカ：

さあ♡

//ヒメコ：

永住を誓って♡

//リンカ：

永住を誓って♡

//リンカ：

その言葉に、偽りはありませんね……？♡

//ヒメコ：

儂らと過ごす覚悟はできたんじゃないかな……？♡

//ヒメコ：

では♡

イかせてやろう♡

//リンカ：

では♡

イかせてあげます♡

//リンカ：

一番気持ちいいタイミングで♡
射精を許可致しますね♡

//ヒメコ：

では♡今から天国に連れて行ってやるぞ♡

//ヒメコ：

なあでなあで……♡すうりすうり……♡
さわさわあっ……もおみもおみ……♡

//リンカ：

ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡
むにゅむにゅうっ……♡むにゅう～っ♡

//ヒメコ：

ずうりずうり……♡ずうりずうり……♡
ぎゅっ♡ぎゅっ♡ぎゅむうう～っ♡

//リンカ：

なでなでえ……♡なでなでっ……♡
すうりすうり……♡さわさわあ～っ♡

//ヒメコ：

さあ♡いくぞ♡

//リンカ：

準備はよろしいですね♡

//ヒメコ：

ずうりずうり♡ずうりずうりっ♡
すりすり……♡なあでなあで……♡
ぎゅむっ♡ぎゅむっ♡
ずりっ♡ずりずりずりずりい〜っ♡

//リンカ：

ずうりずうり♡ずうりずうりっ♡
すりすり……♡なあでなあで……♡
ぎゅむっ♡ぎゅむっ♡
ずりっ♡ずりずりずりずりい〜っ♡

//ヒメコ：

イ〜け♡イケ♡イケ♡イケっ♡

//リンカ：

イ〜け♡イケ♡イケ♡イケっ♡

//ヒメコ：

わぶっ♡

//リンカ：

ひゃあ♡

//リンカ：

お疲れ様でした♡あなた様♡

//ヒメコ：

立派な射精じゃったぞ♡
もう、儂らの顔は、
お主の精子でバックされてしもうたわ♡

//リンカ：

それではわたくし、
少し身だしなみを整えて参ります。
あなた様は、細かいことはなにも考えず、
ゆっくりしててくださいね。

//ヒメコ：

しかしお主……だらしのない顔しとるのう。
いくら気持ちよかったからといって、
こんな無理やりされて……

おっと、そうじゃな。儂の術は解いてやろう。
これでもうお主は自由に動けるはずじゃ。

どうやら、お主は被虐性癖のようじゃしな。
ああして儂になじられるのも、
悪い気分ではなからう？

//リンカ：

はい、お冷やです。
まだまだ、
あなた様には付き合ってくださいるので、
一度ゆったりと体をお休めください。

ほら、飲ませて差し上げますよ。
お口を開けてくださいませ。

はい、上手に飲めましたね。
それでは引き続き、お休みください。

//ヒメコ：

おお、そうじゃ。
儂が軽く指圧してやろうか？
儂はこっちのテクニックもすごいぞ？

//リンカ：

ヒメコ様のそれは……
いえ、効果は確かなのですが、
あまりにも痛すぎます。

長期的に見ればとても回復しますが、
今やったら激痛のあまり、
さらにバテてしまいますよ。

//ヒメコ：

む、そうか……残念じゃのう。

ま、今度してやるでな。
楽しみにしておれよ。

=====

トラック 12

=====

//ヒメコ：

どうじゃ？もう回復したかの？

//リンカ：

もう少しだけ休んでいても構いませんよ？
まだまだ夜は長いですからね。

//ヒメコ：

くく♡そうか♡さてはお主……♡
また、金玉が……ムラ♡ムラ♡
としてきてしまったんじゃな♡

//リンカ：

それはご無礼を致しました♡
わたくしたちの術の影響で……♡
あなた様がすっかり、
えっちの事しか考えられないように
なっていること、失念しておりました♡

//ヒメコ：

これは、
すっきりさせてやらねばならぬなあ……♡

それに、術も使っておらぬのに、
以前交わったときよりも、
ちんぽが大きくなっているではないか……♡

では、お主には……♡

儂らに、順番に種付けしてもらおうかのう♡

もちろん、儂らのほとに……♡

生ハメ♡生種付けじゃぞ……♡

//リンカ：

今日の交わりは特別なんですよ♡

この前と違って……わたくしどもは、

本当に孕んでしまうかもしれません♡

//ヒメコ：

すっかり種馬状態と化したお主じゃが……♡

おかげで、お主の精子はかつてないほど、

ぶっつ濃く♡なっておる……♡

//リンカ：

さあ、お立ちください♡

もちろん♡孕ませた暁には……♡

しっかり責任を取っていただきますが……♡

//ヒメコ：

では……♡

まずは儂から、

ちんぽをぶち込んでもらおうとするかな♡

ほれ、見ろ……♡

儂の雌穴が、お主のちんぽを欲しがって♡

びくびくと誘っておるじゃろう……♡

さあ♡挿れろ♡迷うことなどない♡

どの道お主は、
もはやちんぽの快樂には抗えぬのじゃ♡

ほおれほおれえ♡
やらしく♡腰をふりふりしてやる♡
このぷりぷりの尻を掴んで♡
お主を誘う悪ういおまんこに……♡
種付けしてやりたいんじやろう♡

ん"おおおっ！？♡

//リンカ：

まあ♡とっても男らしい♡
強〜い腰振りでございますね♡

//ヒメコ：

こっ♡これしゅごっ♡おっ♡おおっ♡
お主のちんぽっ♡かつてないほどっ♡
大きくてっ♡腰振り♡激しっ♡

ん"はあっ♡しゅごいっ♡しゅごいっ♡
お"っ♡お"っほおおっ♡お"っ♡お"っ♡お"っ♡
ん"あっ♡どちゅどちゅっ♡
どちゅどちゅされてりゅうっ♡

お"おおっ♡ほひいっ♡ひぎいんっ♡
お"っ♡お"っ♡お"っ♡お"っ♡お"おおっ♡
りっ♡リードしたいのにっ♡お"っほおおっ♡
だめじゃっ♡そこはっ♡お"っほおおっ♡

う"おっ♡おっ♡おっ♡おっ♡おほおおっ♡
こっ♡これはっ♡まっ♡まずいっ♡
もっ♡もう我慢ができぬううっ♡

イ"ぐううっ♡イっ♡イってしまいううっ♡
ん"ほおっ♡お"っ♡イ"ぐ♡イ"ぐっ♡

あ"ぎいっ♡ん"おおっ♡お"っ♡お"っ♡お"っ♡
イ"っぎゅううう〜っ♡♡

お"おおっ♡たっ♡種汁がああっ♡
ぶりゅぶりゅ注がれておりゅうっ♡
ふおおお……♡

あ……♡あはあ……♡こ、こりゃ参ったのう……♡

//リンカ：

ふふ、では次はわたくしですね♡
まだまだおちんぼ様もお元気なようですし……♡

このわたくしめに、
そのご立派なものを挿れて下さいませ♡
ヒメコ様になさったように♡
わたくしのことも壊してください♡

あ♡先っぽが、入口にっ……♡

くひいっ♡あっ♡はあああ……♡
おっ♡奥までえっ♡

はっ♡くっふううっ♡ううっ♡
あっ♡あ♡あ♡あ♡あ♡あ"っ♡

ん"ほおっ♡お"っ♡お"っ♡お"っほおっ♡
やっ♡いやっ♡ん"っ♡あなた様のっ♡ほおっ♡
まっ♡前でっ♡こっ♡こんなっ♡ふおっ♡
はっ♡はしたない声っ♡いやっ♡

ん"おおっ♡お"っほ♡お"おっ♡お"おん♡

声えっ♡ん"っ♡我慢できまひえんっ♡
お"ほおっ♡お"っ♡お"っ♡お"おおっ♡

イ"っぎゅっ♡らめれしゅっ♡もっ♡
もうイ"きそうでしゅっ♡あ"っ♡ひいっ♡
はっ♡はしたないっ♡わたくしめをっ♡お"ほっ♡
お"おおっ♡お許しいっ♡くだしゃいっ♡

ん"ぎいっ♡イ"ぎゅっ♡イ"きまっ♡お"っ♡
イ"ぐイ"ぐイ"っっぐうう〜〜っ♡♡

あ"ああっ……♡
わたくしの奥にっ……♡あなた様の種があっ♡
送りこまれてえっ……♡

あああっ……♡こんなのっ♡
幸せすぎてっ……だめですっ……♡

//ヒメコ：

つく、はあああ……♡
まったく、こっぴどくやられたわ♡

さあて、続きといこうか♡
儂はまだまだ満足しとらんぞ♡

なんじゃ、もうへばったのか？
ばっきばきの魔羅をぶら下げて、
よく言うわ♡まったく……♡

しょうがないのう、寝るがいい。
床に仰向けになるのじゃ。

こうして……っ。

上からお主のことを犯してやるからな……♡

くく♡攻守交代というわけじゃ♡

さあ、ゆくぞ♡

たっぷり愉しんでもらうからな……♡

つく、はあぁっ……♡

こうして、上から挿れるとっ……♡

子宮が、潰れてしまいそうじゃっ……♡

う、動くからなっ……♡

あっ♡あっ♡おっ♡おっ♡おほっ♡

たっ♡たまらぬっ♡このちんぽっ♡

ほっ♡ほっ♡ほっ♡ほっ♡ふおおっ♡

あっ♡あっ♡おっ♡おほっ♡んおっ♡あっ♡

//リンカ：

あなた様ぁ……♡先ほどまでは、

あんなに真剣に責めておられたのに♡

すっかりお顔がとろとろですね……♡

そんなにヒメコ様のおまんこ♡

気持ちいいんですか……♡

それとも、わたくしにこうやって囁かれるのが……♡

たまらないんでしょうか……♡

気持ちよすぎて、

腰が振れないあなた様のために♡

わたくしが合図を出して差し上げます♡

わたくし、これから手拍子を致します♡

あなた様の体はそのリズムに従い、

腰が勝手に突き上がります♡

いきますよ……♡

//ヒメコ：

お、おい♡あっ♡はあっ♡
さっきからっ♡んあっ♡
んにやっ♡なにを話しておるのじゃ♡

ん"おおっ！？♡お"っ♡お"っ♡お"おっ♡
ほおっ♡お"っ♡お"おおっ♡あ"っ♡
あ"ひあっ♡あ"っ♡あ"おおおっ♡

お"っ♡お"っ♡ほおっ♡お"っ♡お"おおっ♡
あ"っ♡あ"ひあっ♡あ"っ♡あ"おおおっ♡

//リンカ：

はい、ばんばんばん♡ばんばんばん♡
腰止まりませんねえ♡
お耳から操られるの、たまりませんよねえ♡

//ヒメコ：

や"っ♡やめっ♡お"ほおっ♡ん"おおっ♡
どっ♡どちゅどちゅすりゅなっ♡
お"おおっ♡お"ぐうっ♡
ごりゅごりゅすりゅなああ〜っ♡
ん"おおおおっ♡お"っほおおっ♡

お"おおっ♡お"っ♡お"っ♡ほおっ♡
ん"おおおおっ♡お"っほおおっ♡お"っ♡お"おおっ♡

//リンカ：

もうなにがなんだか分からない、
って顔になっちゃってますね♡

気持ちよすぎて、えっちすぎて、
頭、ばかになっちゃってますねえ……♡

//ヒメコ：

イ"っぐっ♡もうむりっ♡むりじゃあっ♡
イ"ぐのじゃあっ♡ん"おおっ♡お"っ♡お"っ♡

ん"ほお"お"お"っ♡イ"っぐうううっ♡
イ"ぐっ♡イ"っぐう"う"うう～～っ♡♡

ん"おおっ♡だ、出しすぎじゃっ……♡
子宮がはちきれてしまううう……♡

あああああ……♡はああああ……♡

はあ♡はあ♡はああああ……♡

//リンカ：

さて、次はわたくしの番でございますね♡

//ヒメコ：

う、うむ……そうじゃな……

//リンカ：

どうされたのですか？ヒメコ様？

//ヒメコ：

か、完全に腰が砕けてしもうた……
立ち上がれぬ。

//リンカ：

そ、それはそれは……今お助けしますね。

うん……しょっと……！

//ヒメコ：

おお、助かった。

あのまま、こやつの肉布団として
生涯を終えるところじゃったわ。

//リンカ：

おや、それはわたくしの仕事ですよ？

//ヒメコ：

え？

//リンカ：

はい？

//ヒメコ：

まあよい。

ともかく、こやつの隣に降ろしてくれ。

//リンカ：

かしこまりました。

//ヒメコ：

ありがとうな、リンカ……

ところで、本当に続けるのか？

//リンカ：

ええ、もちろんです。

//ヒメコ：

こやつ、もう快樂で、
とんでもない状態になっておるが……

//リンカ：

ふふ、むしろそれぐらいしめんと。

二度と、わたくしどもの元を離れたいだなんて
思えないほど……
深く、深く、快樂を刻み込まなければ♡

//ヒメコ：

う、うむ……

//リンカ：

さあ、あなた様……♡
今からご立派なそれを、
わたくしめのおまんこに収めさせていただきます♡

では、参ります……♡

あぁっ♡まっ♡また入ってきました……♡

たまりませんっ……♡
お腹だけじゃなくて、

心まで満たされていくこの感覚っ……♡

う、動きますねっ……♡

あぁっ♡あっ♡ふぁっ♡んぁっ♡あ♡
すっ♡すごっ♡んっ♡んふうっ♡
あっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はぁっ♡

こっ♡これなら♡あっ♡ふっ♡
あとっ♡丸二日でもっ♡んっ♡
まっ♡交わってえっ♡
いられますっ♡ねえっ……♡ふううっ♡

あっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はっ♡はぁっ♡
あぁっ♡あっ♡ふぁっ♡んぁっ♡あ♡

//ヒメコ：

お、おい……
流石にそんなことをされたらお主、
死んでしまうやもしれぬ。

いいか、今からお主のちんぽを
儂がさらに大きくしてやる♡
そうすれば、リンカはたちまちに
体力を使い果たしてしまうはずじゃ♡

いいか、ゆくぞ……♡せー、のっ！

//リンカ：

ん"ひいっ！？♡お"おっ！？♡

お"っ♡おっきっ♡な"っ♡なんでっ♡
ん"ほおっ♡ほっ♡ほっ♡ほっ♡ほっ♡ほおっ♡
おっ♡おっ♡おっ♡おおっ♡んおっ♡

壊れ"りゅっ♡壊れちやいまひゅうっ♡

ん"ほおっ♡ほっ♡ほっ♡ほお"っ♡

お"っ♡おっ♡おっ♡おおっ♡んおっ♡ほっ♡ほお"っ♡

//ヒメコ：

効果観面じゃな♡

さあ、ぼさっとしておらんで、

お主も突き上げるのじゃ♡

//リンカ：

だっ♡だめれしゅっ♡ん"おっ♡こっ♡

これえっ♡いっ♡一回っ♡抜かないとっ♡

ガチイキアクメっ♡キメちやいまひゅっ♡

抜くっ♡抜く抜く抜くうっ……♡

ふぎっ♡んぐぐうっ……♡

ん"っお"おおおっ！？♡

にゅっ♡抜けないっ♡抜けまひえんっ♡

ん"ひいっ♡お"うっ♡お"んおおっ♡

おちんぼ様あっ♡太っ♡すぎてえっ♡

完全にいっ♡はっ♡はまっちゃいまひたっ♡

ふおっ♡ほっ♡ほっ♡ほひいっ♡ひいっ♡

ん"ほおっ♡ほっ♡お"うっ♡お"んおおっ♡ほっ♡ほひいっ♡

//ヒメコ：

くく♡計算通りじゃ……♡

さあ♡もうリンカは逃げられん♡

がつがつ突きまくって、

好きなだけぶちまけるのじゃぞ♡

//リンカ：

オ"おおっ！？♡りやめっ♡そんにやっ♡
お"ほおっ♡ほおっ♡ふおおっ♡
どっ♡どっちゅどちゅしないれええっ♡
こわれりゅっ♡子宮っ♡
ちゅふれちやいまひゅううっ♡

だめえっ♡らめなんれひゅうっ♡こっ♡
ん"うほおおっ♡お"おんっ♡あ"っひいい♡
い"っ♡今っ♡ガチイキアクメっ♡
キメさせられたらあっ♡ひぎいっ♡
わたくしのおっ♡ほおっ♡けっ♡計画があっ♡
だめにっ♡なっちゃいまひゅうっ♡

ふおっ♡ほっ♡ほっ♡ほひいっ♡ひいっ♡
ん"ほおっ♡ほっ♡お"うっ♡お"んおおっ♡ふおっ♡ほひいっ♡

//ヒメコ：

ふん、どうやらお主の精子を
独占するつもりだったらしいが……♡
甘いぞ、その程度見抜いておるわ♡

//リンカ：

イっぐうっ♡イぎゅっ♡イぎゅうううっ♡
きちゃうっ♡あなた様のでかちんぽでえっ♡
おくうっ♡おぐっ♡ぶち抜かれてえっ♡
オ"っほおっ♡イっ♡イぎまひゅううっ♡

あ"ぶふううっ♡お"っ♡お"お"おおっ♡
イ"っっぎゅうううう～～っ♡♡

あ……♡う……あ……♡あ……ああ……♡

はあ……♡あ……ああ……♡ふあ……♡

//ヒメコ：

さて、術を解いてやるとするかな……

//リンカ：

はうっ♡や、やっと抜けまひたあ……♡

//ヒメコ：

これに懲りたら、
もう人を出し抜こうなどとは、
考えぬことじゃな。

//リンカ：

はひい……♡
申し訳ありません、
妖狐の血が騒いでしましまして……♡

//ヒメコ：

さて、次は儂の番じゃな……ん？

//リンカ：

あれ、あなた様？

//ヒメコ：

き……気を失っておる……！

//リンカ：

た、大変ですっ！
急いで精気を分けないとっ！

//ヒメコ：

あ、ああ！
おい、しっかりするんじゃ！生きろ！

=====

トラック 13

=====

//ヒメコ：

ふうー……しかしリンカよ……
意外とよい酒を持っておるんじゃな。

//リンカ：

ええ、
ヒメコ様は安酒でよいと仰りましたけど、
やっぱり供するなら、
なるべくよいものをお持ちしたくて。

//ヒメコ：

まさか、儂が持ってきたのより、
よい酒じゃなかなうな？

//リンカ：

いえいえ、
あくまでお店で仕入れられるレベルですよ。
片田舎の、ただの定食屋にしては頑張りましたけれど。

//ヒメコ：

おお、目覚めたか。

//リンカ：

よかった！
わたくし、もう目を覚まさなかったら
どうしようかと……！

//ヒメコ：

どこか、体に妙なところはないか？
お主の体調が心配じゃ。

//リンカ：

そうですか、本当によかったです……！

//ヒメコ：

非常に申し訳なかったと思っておる。
儂がお主にあれこれと術をかけてしまったばかりに……

//リンカ：

いえ、ヒメコ様は悪くありませんよ。
これはわたくしの責任です……

我を忘れて、怒りに狂って、
大好きなあなた様を、搾り尽くして……
完全に壊してしまう、一歩手前でした。

本当に、申し訳ありませんでした……

//ヒメコ：

よいのか？お主……
こんな儂らを、許してくれるのか？

//リンカ：

あんな目に遇わせたのに、
許して下さるなんて……
あなた様はやはり、懐の広いお方ですね。

//ヒメコ：

しかし、
こうもあっさり許してもらえとはな……

//リンカ：

実は、謝罪の意も込めて……ヒメコ様が、
とびっきりよいお酒を
用意してくださっていたのです。

//ヒメコ：

ま、折角じゃ。
一緒に呑みながら、語らおうではないか。

//リンカ：

あ、ここですか？
ここはヒメコ様のお家ですよ。
つまり、雑貨屋さんのバックヤードです。

//ヒメコ：

ここが一番、
お主の治療に使いやすかったのにな。
さ、こっちに来るとよいぞ。

//リンカ：

まあ、こんなに大きな瓢箪があるなんて！
ここにお酒が入っているのですね……

//ヒメコ：

いかにもその通りじゃ。

ときにお主、コーヒーは飲んだことあるか？

あれは砂糖を入れて、

苦みを調整することができるが……

こいつは、妖力を注ぎ込むことによって、

度数を変えることができる

特殊な酒なんじゃ。

//リンカ：

ということは、ノンアルコールにも

できるということですね？

//ヒメコ：

左様じゃ。

さ、お主はどうしたい？

//リンカ：

なるほど……あなた様に出すべきお酒の

参考にさせていただきますね。

//ヒメコ：

注文、承ったぞ。

ぬんっ！

ほれ、できたぞ。これがお主の分じゃ。

//リンカ：

では、
わたくしにも同じ度数のものをお願いします。

//ヒメコ：

お主も呑む気満々じゃのう。

//リンカ：

だってヒメコ様、
お祭りのときですら他の方にそのお酒、
絶対振る舞ったりしないではありませんか。

//ヒメコ：

うますぎて中毒になりかねんからな。

ほれ、入れたぞ。

//リンカ：

では、乾杯を致しましょうか。

//ヒメコ：

うむ。

//リンカ：

では、色んなことを記念して……

//ヒメコ：

かんぱーいっ！

//リンカ：

かんぱーいっ！

//ヒメコ：

ふはあーっ！やっぱこれじゃなあ！

//リンカ：

んく……ん……本当においしいですね、これ。
どうやって調達してるんですか？

//ヒメコ：

千年ものの企業秘密じゃ。
誰にも話したことはないぞ。

//リンカ：

むう……

//ヒメコ：

そんなことより、
これからの話をしようじゃないか！

//リンカ：

まったくもう、ヒメコ様ったら……

しかし、そうですね。
話しておくべきことはいっぱいあります。

//ヒメコ：

うむ、そういう話はして来なんだ。

//リンカ：

この村は季節ごとのアクティビティが
豊富なんです。
もっと村の魅力を伝えていけば、
ことは拗れなかったかもしれませんね……

//ヒメコ：

そうじゃなあ。
春はなんと、山菜採りができるんじゃぞ。

//リンカ：

一番地味なアクティビティから
入りましたね。

//ヒメコ：

えきさいていんぐじゃろ、山菜採り。

//リンカ：

夏には夏祭りがあります。
色んな屋台が出て、花火も打ち上がります！
凝束村の規模からは考えられないほど、
豪華なお祭りなんですよ。

あ、無理に若い人に設営させたりとか、
そういう嫌な田舎の部分はありませんよ。
安心してくださいね。

//ヒメコ：

ま、儂らが裏で手を回して……
夏祭りを成立させているというわけじゃ。
そういうわけで、あまり気にするな。

ちなみに、秋には紅葉狩りができるぞ。
ここらは山と森ばかりじゃからな。

//リンカ：

ええ、息を呑むほど美しいんです。
わたくしがここに身を置こうと思った
きっかけでもあります。

//ヒメコ：

そして、冬はスキーができる！
儂らが手取り足取り教えてやるから、
苦手だったとしても心配ないぞ。

//リンカ：

もちろん、その後は夜のレッスンも……♡

なにせ辺境でございますからね、
高齢化が深刻でして……

そこで！わたくしどもと子作りすることで、
そうした流れに抗うことができるのです！

これは非常に意義のある
アクティビティでございますよ！

//ヒメコ：

お主、もう酔ったか？

まあ、実際のところ……

儂ら二人と毎日交わることができるのは、
都会にはない魅力じゃろ？
季節も関係ないしのう。

//リンカ：

はっ……すみません。またはしたない所を。

ともかく、そういうわけでして……

ここは一年を通して、
楽しみがいっぱいあるのです。

//ヒメコ：

どうじゃ、
ここに骨を埋めるのも悪くなかろう？

//リンカ：

とにかく、
一年をここで過ごしていただきたいのです。
きっと気に入っていただけますから。

//ヒメコ：

そうか、そうしてくれるか。

//リンカ：

ふふ、それじゃあ、
明日からどうするか考えましょうか。

=====

トラック特典

=====

//ヒメコ：

はあーっ、暑い。夜のくせに暑いもう。

//リンカ：

じゃあアレやってくださいよリンカ様あ。
うちわを大きくして扇ぐ術ありましたよね？

//ヒメコ：

祭りのど真ん中で
そんなことできるわけなからうっ。
はあ～暑い暑い……

//リンカ：

そんなこと言いながらも、
ちゃっかり体を擦り寄せているでは
ありませんか。

//ヒメコ：

べ、別にいいじゃろ。
折角の機会じゃからなっ……

//リンカ：

あなた様は暑くないのですか？

左様ですか。
都会のほうが暑いと耳にしますしね。

ふふ、ではわたくしも……

//ヒメコ：

往来で、こうして密着して歩くのは
気恥ずかしいのう。

//リンカ：

ヒメコ様、意外とうぶな所ありますよね。
えっちはあんなにお上手なのに……

//ヒメコ：

今日のリンカは、なんだか意地悪じゃな……

//リンカ：

ヒメコ様が可愛いので、つい♡

あ、そうです。
あなた様、リンゴ飴食べませんか？

はい、あ〜ん……

ふふ、ではわたくしもいただきますでしょうか。

あー……あむっ。ん、ん……

ふふ、間接キスですね♡

//ヒメコ：

な、なな、なにが間接キスじゃ！
いつももっとすごいことしとる癖につ！

//リンカ：

ふふ、羨ましいのですか？

//ヒメコ：

う、羨ましくなどっ……！

うぬぬぬ……！

おい、いいからこのアイスを食べ。

いいから食うのじゃ！

食わねば直接口におち込むぞっ！？

そうじゃ。それでよい……ふふふ。

じゅるるっ！ずずっ！ずぞぞぞっ！

んふ〜♡れろれろれろ……

ああ、最高じゃな……♡

//リンカ：

え、ええ……？

//ヒメコ：

おお、それより……

大切なことを聞いておらなんだ。

どうじゃ？今日の儂の装いは。

長らく袖を通しておらんかった、
一番お気に入りの着物を着たのじゃ。

ふふ、そうかそうか。そうじゃろう！

お主もこの着物の良さが分かるか！

へ……？

お、お主っ……！そんなことを、
誰にでも言っておるんじゃないかな！？

まったく、お主はズルい男じゃな。
か、顔から火が出そうじゃ……

//リンカ：

ちょっと！なに二人だけで
盛り上がってらっしゃるんですか！？
わたくしのことも見てくださいっ！

わたくしも本日は、一番いい着物で参りました。
でも、わたくしにとっての良し悪しは
これっぽっちも重要じゃありません。
あなた様……この着物、どう思われますか？

ふふっ♡そうですか……♡
そんなにわたくしのことを
熱烈に見てくださっていたなんて、
嬉しいです♡

どうですか、あなた様……♡
そこに丁度よい茂みもございますし、
熱に浮かされてしっぽりと……

//ヒメコ：

おお、花火じゃな。もう花火大会の時間か。

//リンカ：

ふふ、やっぱり今日ぐらいは……
純粹に祭りを楽しみましょうかね。

//ヒメコ：

そうじゃぞ、夏祭りは一年に一度じゃ。
去った夏は、もう戻らぬ。

//リンカ：

やっぱりヒメコ様、乙女になりましたよね。
前とは全然違います。

//ヒメコ：

それを言うなら、お主も変わったな。

さ、行こうぞ。
花火大会が終わる前に、
いい場所を取らねば！